



マッスルカーの爆発的な加速は刺激的だけど、いざ乗ってみたら経済性や燃費という現実と直面する人も少なくない。このマスタングのオーナーさんもその1人で、とりあえずV8に乗ったら満足し、そこで気づいたのは大排気量のマッスルカーよりも、唯一無二の存在というべきカスタムカーの方が好きだったということだ。

最大のポイントは、ノーマルを遥かに凌ぐワイドボディ化されたスタイリングで、TOPPOが自ら製作した車両の1台。前後のフェンダーはサイドシルで繋がれ、オリジナルとはまったく異なるシルエットへ生まれ変わったと言えるだろう。片側だけでも20cm以上ワイドとなっており、乗り込む時にはサイドシルを跨いで乗り込む必要がある。

こんな個性的なクルマ、良い意味でクセのあるクルマを見た瞬間、そりゃ「買います！」って即決するって物。事実「ここで手に入れないければ、絶対に自分の手元には来ないな」と確信したとか。まさに、チャンスをしっかり手にしたとも言えるだろう。

購入後は、ヘッドライトのLED化や幌のリフレッシュを実施。サスペンションはエアサスだが、トランスクスベイスはノーマルと同等。さりげないコダワリが、このマスタングには盛り込まれている。今後はオーディオのカスタムを予定しているとのこと。シヨップと相談しながらさらなる進化を目指す。

マッスルカーの走りよりカスタムカーの方が好み

AMERICAN CUSTOM STYLE



オーバーフェンダーをただ追加するのではなく、ボディラインを完全に一新！ ちなみにTOPPOのキットを組み込んだ車両は一定数存在するが、このマスタングはTOPPOの手によって組み上げられた稀少な1台。マスタングと言うよりも、違うネーミングで呼びたくなるほど変貌しており、まさに孤高の存在と呼ぶに相応しい。



フロントは245/30R22、リアは335/25R22という、このスタイルならではのタイヤをセット。片側だけでも20cm近く拡大しており、単なるカスタムとは一線を画す独特なスタイルを実現。ここまでの存在感を持つ車両はそうそうお目にかかれないし、手に入れるチャンスがあるなら誰もが一度は乗ってみたいと思うだろう。



唯一無二の存在感で見た瞬間に購入を決意!

クライスラー300を皮切りに、V8チャレンジャー、そしてこのマスタングと乗り継いできたオーナー氏。誰もが一度は大排気量のマッスルカーに乗りたいと思うが、いざ乗ってみて分かったことは「マッスルよりもカスタムカーが好き」という事実だった。

■PHOTO: 浅井岳男 ■TEXT: 空野陵

2012 FORD MUSTANG WIDEBODY CUSTOM



インテリアは、ロアカーペットも含めてレッドに統一。次は手付か、そのオーディオに手を加える予定だ。



エンジンはV8-372と搭載。V8の加速は体感した。走りよりも独自のスタイルを大切にしたいと語る。

GraceCab Tel: 0568-35-7790
http://gracecab.jp